

学術団体企画による対面研修会

資料4-1 第83回日本癌学会学術総会 SSPプログラム

第83回 日本癌学会学術総会 SSP（サバイバー科学者）プログラム	
1 日目	
8:00 - 8:30	参加受付
8:30 - 8:50	アドボケートメンター【注 1】によるオリエンテーション 天野 慎介 グループ・ネクサス・ジャパン 桜井 なおみCSRプロジェクト 眞島 喜幸 バンキャンジャパン 大西 啓之 NPO法人キュアサルコーマ 馬上 祐子 一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク、小児脳腫瘍の会
8:50 - 9:00	開会式@メインホール
9:00 - 9:50	SSP プログラム開会挨拶 藤田 直也 がん研究会 がん化学療法センター Margaret FotiAACR : American Association for Cancer Research SSP プログラムの概観 眞島 喜幸バンキャンジャパン SSP プログラムのナビゲーション 大西 啓之NPO法人キュアサルコーマ
9:50 - 11:10	学術総会口演の聴講
11:10 - 12:00	SSP基礎講座：全ゲノム解析（オミックス）（仮） コード：がん-1 鈴木 絢子東京大学新領域創成科学研究科
12:00 - 12:50	SSP 基礎講座：抗体医薬 コード：がん-1 安永 正浩国立がん研究センター先端医療開発センター・新薬開発分野
12:50 - 16:10	学術総会口演の聴講

16:10 - 17:00 **SSP 基礎講座：核酸治療薬**

コード：がん-1

近藤 豊名古屋大学大学院医学系研究科

17:00 - 17:10 **初日のまとめ**

天野 慎介グループ・ネクサス・ジャパン

2日目

8:30 - 9:00 **SSPプログラム参加者によるポスター掲示【注2】**

9:00 - 11:10 **学術総会口演の聴講**

11:10 - 12:00 **SSP基礎講座：診断薬のこれから**

コード：がん-1

植田 幸嗣がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター

12:00 - 12:50 **SSP基礎講座：AIを用いたがん診断・創薬**

コード：がん-1

浜本 隆二国立がん研究センター研究所

12:50 - 13:50 **アドボケートメンターとのグループセッション**

コード：参画-1、参画-2、研究-4

桜井 なおみCSR プロジェクト

眞島 喜幸 パンキャンジャパン

13:50 - 16:30 **学術総会口演の聴講及びポスターディスカッションの（発表）準備**

16:30 - 18:00 **SSPプログラム参加者によるポスターディスカッション（発表）【注2】**

コード：参画-1

18:00 - 18:30 **SSPプログラム参加者によるポスター撤去**

18:30 - 18:40 **2日目のまとめ**

天野 慎介グループ・ネクサス・ジャパン

19:30 - 21:30 **名譽会員・評議員合同懇親会**

(※) SSPプログラム参加者は全員参加となります

3日目

9:00 - 9:50 **SSP 基礎講座：がん研究の歴史（仮）**

コード：研究-1

野田 哲生がん研究会 がん研究所

9:50 - 12:00 **学術総会口演の聴講**

12:00 - 13:50 **昼食及びグループ・プレゼンテーションの準備**

13:50 - 15:10 **学術総会口演の聴講**

15:10 - 16:10 **グループ・プレゼンテーション【注3】**

コード：がん-1、参画-1、参画-2

グループ1のテーマ

「核酸治療薬の将来展望」

グループ2のテーマ

「抗体医薬の最新モダリティ（ADC、Bispecific、BiTEを含む）」

16:10 - 16:40 **修了証書授与式**

閉会挨拶

藤田 直也がん研究会 がん化学療法センター

資料4-2 第62回日本癌治療学会学術集会 PALプログラム

10月24日(木)		
オリエンテーション1	8:00~8:30	
オリエンテーション2	11:30~12:00	
PAL セミナー1	12:20~13:00	<p>がん医療にかかわる医学物理士の役割 コード: がん-1</p> <p>橋英伸先生(国立がん研究センター東病院放射線品質管理室室長)</p> <p>医学物理士とは、放射線治療の安全はどうやって確保するのかを知りましょう。</p>
PAL セミナー 2	13:20~14:00	<p>がん治療とアレルギー コード: がん-1</p> <p>藤井千賀先生(堺市立総合医療センター薬剤科)</p> <p>がん治療で見られるアレルギーの症状や対策法について知りましょう。</p>
ワークショップ1	14:30~16:00	<p>ラウンドテーブルディスカッション模擬倫理審査委員会 コード: 研究-1~4</p> <p>佐々木治一郎先生(北里大学医学部附属新世紀医療 開発センター・横断的医療領域開発部門臨床腫瘍学教授)</p> <p>全田貞幹先生(国立がん研究センター先端医療開発センター・粒子線医学開発分野)</p> <p>研究への参画の一つに、研究倫理審査委員会等への委員としての出席があります。ここでは研究計画書の見方を学習した後に、模擬倫理審査委員会に市民・患者委員として参加することで、研究計画に対して質問したり意見を言ったりするという体験をします。</p> <p>この体験は、臨床研究そのものの理解を深めるだけでなく、なぜ研究に市民・患者の意見が必要なのかを知る良い機会になるでしょう。</p>
ミニポスター交流会	16:30~17:30	<p>コード: 参画-1</p> <p>応募フォームに記載された内容を会場に展示します。参加者同士が互いの活動を知り、連携やPPIについて話しあう交流会です。</p> <p>医療者や研究者との協働のきっかけにもしていただけます。</p>
10月25日(金)		
オリエンテーション3	8:00~8:30	
オリエンテーション4	11:30~12:00	
PAL セミナー 3	12:20~13:00	<p>地域医療構想+働き方改革で何が変化するのか</p> <p>竹原徹郎先生(大阪大学大学院医学系研究科内科系臨床医学専攻消化器内科学教授)</p> <p>医療環境の変化(こよる患者や家族への影響、患者・支援者が知っておくべきこと、できることは何かを考えましょう。</p>

PAL セミナー 4	13 : 20 ~14 : 00	がんと経済毒性 コード:がん-2 本多和典先生(愛知県がんセンター薬物療法部医長) 経済毒性とはなにか、どんなサポートがあるのか、患者ができる事は何か、などを考えましょう。
ワークショップ 2	16 : 20 ~17 : 50	アンケート調査項目をつくってみよう(患者団体での調査) コード:参画-2,研究-3,EB-2,EL-1 有賀悦子先生(帝京大学医学部緩和医療学講座) 片山佳代子先生(群馬大学情報学部) 患者参画をテーマにして、研究にも触れつつ、実際に望ましいアンケートとはどのようなものか体験するセッションです。
10月26日(土)		
ポスターセッション	11:00~12 : 00	掲示した紙ポスターを囲んで発表し討論する。
PAL 意見交換会	12 : 30 ~13 : 40	ポスター賞・奨励賞の表彰式 「医療者の当り前と患者の理解のギャップ～意思決定を妨げる言葉～」 医療者と患者・家族の理解のギャップにはどういふことがあるか、それをなくすにはどうしたらいいか考えましょう。

資料4-3 第22回日本臨床腫瘍学会学術集会 PAP

第1日目 3月6日(木)

8:40~8:55	オリエンテーション①
9:00~9:45	PAP特別企画①「パネルディスカッション：患者の声を聴く」 パネリスト PAP出席者のパネリスト
10:00~10:45	PAP基礎講座①「遺伝性腫瘍の診療はどこまで進んだのか」【カリキュラムコード：がん-1】 講師 櫻井 晃洋（札幌医科大学医学部 遺伝医学）
11:00~11:45	PAP特別企画②「企業におけるがん患者の就労支援～がん経験者コミュニティ活動」【カリキュラムコード：がん-2】 講師 桜井 なおみ（一般社団法人CSRプロジェクト）
12:00~12:45	ランチョンセミナー①「がん薬物療法のコストを評価する～JCOG医療経済小委員会の活動から」 司会 天野 慎介（一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン） 講師 後藤 悌（国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科）
13:00~13:50	緊急企画「みんなで考えよう、高額療養費制度」 講師 坂本 はと恵（国立研究開発法人国立がん研究センター東病院サポーターケアセンター）
14:00~14:45	PAP基礎講座②「発熱性好中球減少症（FN）診療ガイドラインの改訂～最新のエビデンス」【カリキュラムコード：がん-1】 講師 冲中 敬二（国立がん研究センター東病院 感染症科）
15:00~15:45	PAP基礎講座③「がんサバイバーの心臓を守る～カルディオオンコロジー（腫瘍循環器）とは」【カリキュラムコード：がん-1】 講師 高野 利実（がん研有明病院 乳腺内科）
16:00~16:45	PAP特別企画③「Highlights of the day～学術集会1日目のポイント」 司会 渡邊 清高（帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科） パネリスト 勝俣 範之（日本医大武蔵小杉病院 腫瘍内科） 佐々木 治一郎（北里大学医学部 新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門臨床腫瘍学） 西森 久和（広島市立広島市民病院 血液内科）

第2日目 3月7日 (金)

8:20~8:35	オリエンテーション②
8:40~9:25	PAP特別企画④「医療 AI がひらくがん医療の未来」【カリキュラムコード：がん-1】 講師 浜本 隆二（国立がん研究センター研究所 医療AI研究開発分野）
9:40~10:25	PAP基礎講座④「パネルディスカッション：がん薬物療法専門医の役割と未来」【カリキュラムコード：がん-1】 講師 田村 研治（島根大学医学部附属病院 腫瘍内科） 谷崎 潤子（近畿大学医学部内科学教室 腫瘍内科部門）
10:40~11:25	PAP基礎講座⑤「血液検査で分かるがんの診断～リキッドバイオプシーの世界」【カリキュラムコード：がん-1】 講師 中村 能章（国立がん研究センター東病院）
11:40~12:25	ランチョンセミナー②「高齢がん患者への意思決定支援」 司会 香留 美菜（徳島県がん患者団体協議会） 松本 陽子（NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会） 講師 小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科）
15:00~15:45	PAP特別企画⑤「がん研究における患者・市民参画の推進に向けて」【カリキュラムコード：参画-1】 講師 有賀 悦子（帝京大学医学部緩和医療学講座 緩和ケア内科）
16:00~16:45	PAP特別企画⑥「ゲノム医療で推奨された保険適応外薬をどのように使うか？」【カリキュラムコード：がん -1、EL-2】 講師 池田 貞勝（東京科学大学病院 がんゲノム診療科）
17:00~17:45	PAP特別企画⑦「Highlights of the day～学術集会2日目のポイント」 司会 渡邊 清高（帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科） パネリスト 勝俣 範之（日本医大武蔵小杉病院 腫瘍内科） 佐々木 治一郎（北里大学医学部 新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門臨床腫瘍学） 西森 久和（広島市立広島市民病院 血液内科）

第3日目 3月8日(土)

8:00~8:15	オリエンテーション③
8:30~9:20	PAP応用講座①「治験を含む臨床試験の枠組みについて」【カリキュラムコード：研究-1・2】 講師 藤原 紀子（東京大学医科学研究所附属病院 先端緩和医療科）
9:30~10:20	PAP応用講座②「臨床試験と倫理指針について」【カリキュラムコード：EL-1】 講師 竹下 啓（東海大学医学部 医療倫理学領域）
10:30~11:20	PAP応用講座③「治験に参加する前に知っておいて欲しいこと」【カリキュラムコード：研究-3・4】 講師 佐々木 治一郎（北里大学医学部 新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門臨床腫瘍学）
12:00~12:50	ランチョンセミナー③「最新の肺がん治療と意思決定支援の重要性」 司会 長谷川 一男（NPO法人肺がん患者の会フンステップ） 講師 佐々木 治一郎（北里大学医学部 新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門臨床腫瘍学）
14:00~16:10	PAP応用講座④「グループディスカッション この治験、あなたなら参加しますか？」【カリキュラムコード：研究-1・2・3・4】 講師 佐々木 治一郎（北里大学医学部 新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門臨床腫瘍学） ファシリテーター 久米 恵江（北里研究所病院 看護部） 鋸持 喜之（勤医協中央病院 呼吸器内科・総合内科） 高濱 隆幸（近畿大学 腫瘍内科/ゲノム医療センター） 手塚 葵（医薬品医療機器総合機構） 番匠 章子（北里大学病院 看護部 看護管理室） 前田 実花（北里大学薬学部 臨床薬剤疫学/北里大学病院 HRP室・薬剤部） 三浦 理（新潟県立がんセンター新潟病院 内科） 三浦 里緒（東京都立大学健康福祉学部 看護学科 成人看護学領域 人間健康科学研究科 看護科学域） 山本 明子（北里大学病院 臨床研究推進センター） 全国がん患者団体連合会

資料 4-4 第 9 回日本サポーティブケア学会学術集会

9:40~11:10

ワーキンググループ企画 4

S P 第5会場

がんサバイバーのニーズに基づいたサバイバーシップ関連情報の内容と発信はどうあるべきか

座長：高橋 都 (NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク)

佐々木治一郎 (北里大学医学部新世紀医療開発センター 横断的医療領域開発部門 臨床腫瘍学)

WG4-1 よりよく生きるための、サバイバーシップ情報と研究の未来像

一般社団法人 CSR プロジェクト / キャンサーソリューションズ株式会社 桜井なおみ

WG4-2 がんが治っても“なぜこんなに苦しいのだろう”～ピアサポート活動の意義と展開の難しさ～

認定 NPO 法人 オレンジティ 矢後 綾子

WG4-3 がんサバイバーのニーズに基づいた情報発信：情報支援サイト『AYA 世代のがんとくらしサポート』運営における研究者の学び

武蔵野大学 看護学研究所 土屋 雅子

WG4-4 がん情報を取り巻く環境の変遷と民間がん情報サイトの役割 ～患者主導ではない、ネット上の支援団体の立場から～

3H メディソリューション株式会社 / エムスリー株式会社 可知 健太

参画-1 興味 参画-2 参画チャレンジと意見交換 EB-2 情報リテラシー

17:50~19:00

PPI (患者・市民参画) セッション 1

P 第1会場

患者・市民参画 (PPI) によるがんサポーティブケア臨床研究に挑戦する

座長：桜井なおみ (一般社団法人 CSR プロジェクト)

太良 哲彦 (相良病院 腫瘍内科・緩和ケア科)

PPI1-1 サポーティブケアにおける患者・市民参画と学会への期待

一般社団法人全国がん患者団体連合会 天野 慎介

PPI1-2 患者・市民参画があるサポーティブケア臨床研究はここが違う

昭和大学保健医療学部 渡邊 知映

PPI1-3 乳がん患者の再発恐怖軽減のためのスマホアプリの開発と有用性の検証：PPI の役割と期待

名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 明智 龍男

PPI1-4 拳児希望のある乳がん術後女性がホルモン療法を中断して妊娠を試みる国際共同研究 POSITIVE 試験に参加して

がん研究会有明病院 乳腺センター 乳腺外科 片岡 明美

参画-1 興味 参画-2 参画チャレンジと意見交換 研究-1 なぜ研究が必要なのか

16:50~18:00

会長提案企画3

S P 第6会場

JASCC版「地域の患者さん支援のための情報づくりと普及プランを考える研修会」

座長：増田 昌人（琉球大学病院 がんセンター）
轟 浩美（認定NPO法人 希望の会）

PP3-1 北海道における情報づくりから、ネットワークづくりへ

北海道がんセンター がん相談支援センター 木川 幸一

PP3-2 患者さんの役に立つ地域の情報づくりと普及について―「おきなわ がんサポート ハンドブック」編集・発行・無料配布14年間の経験を中心に―

琉球大学病院 がんセンター 増田 昌人

PP3-3 当事者として、地域の情報と連携に期待すること

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 松本 陽子

参画-1 興味 参画-2 参画チャレンジと意見交換 EB-2 情報リテラシー

17:20~18:30

会長提案企画2

S P 第4会場

がん研究の情報発信はどうあるべきか（メディアドクター研究会との協働企画）

座長：大野 智（島根大学医学部附属病院 臨床研究センター）
岸田 徹（NPO法人がんノート）

PP2-1 信頼できる医療・健康情報をどう探すか（医学図書館司書の視点から）

千葉県済生会習志野病院 図書室 佐藤 正恵

PP2-2 ちまたにあふれるがん情報をどう読み解くか

京都薬科大学 非常勤講師 北澤 京子

PP2-3 がん研究や医療の情報発信のあり方を患者目線で考える

NPO法人がんノート 岸田 徹

PP2-4 分かりやすい情報の伝え方について考える

国立がん研究センター中央病院 石木 寛人

参画-1 興味 EB-2 情報リテラシー

AYA研・JASCC 合同企画「みんなでがん教育に取り組もう！」

座長：楠木 重範(遊育園こどもクリニック)
高野 利実(がん研究会有明病院)

PSP2-1 がん教育で授業する際に意識していること～がん経験者の立場から～

NPO 法人がんノート 岸田 徹

PSP2-2 がん教育の外部講師ってどんなことするの？ー未来を生きる子どもたちへーがん専門医編

国立国際医療研究センター がん総合診療センター サバイバーシップ支援科 谷山 智子

PSP2-3 学校だけじゃないがん教育 ～AYA Week 2024 教育チームの取り組み～

医療法人財団はるたか会訪問看護ステーションあおぞら京都 宗 皓

メイプル薬局 梶 文祥

聖マリアンナ医科大学 竹内 愛莉

fLy 田中 芙美

遊育園こどもクリニック 楠木 重範

がん研究会有明病院 高野 利実

みんなで創る！

がん研究のための患者・市民参画研修会

〔第1回〕

日時
2024年
7月20日
土曜日

会場
AP東京丸の内
会議室EFG

東京都千代田区
丸の内1-1-3
日本生命丸の内
ガーデンタワー 3F

参加料
無料

対象者
がん経験者
(ご家族を含む)
一般市民

1 午前の部 9:30～12:15 : 講義・質疑応答・演習

参画が医療を変える・
建設的な意見交換ができる

なぜ研究が
必要なのか？

患者・市民参画するために！
自分が目指す参画について考える

2 午後の部 13:30～17:05 : 講義・グループワーク

がん研究について
知ろう

最新の
がん研究の知見

がんについて
知ろう

模擬研究倫理審査会参画を
体験してみよう！

根拠に基づいた
キャッチコピー作成に参画しよう！

臨床研究プロトコルを
読み解く

- 事前参加登録 6月5日(水)～7月10日(水) Web受付
- お問い合わせ先 registration@dofmet.or.jp
- 研究班のアンケートにご協力をお願いします。

参加コース

- ① 午前のみ参加 ② 午後のみ参加 ③ 1日参加(午前+午後)
- ④ 午前参加+午後見学(グループワーク見学)

本セミナーは、厚生労働省科学研究で開発された
患者・市民参画カリキュラムに基づいた研修会です。



後援

一般社団法人 全国がん患者団体連合会
一般社団法人日本癌学会、一般社団法人日本癌治療学会、公益社団法人日本臨床腫瘍学会

みんなで創る! がん研究のための患者・市民参画研修会 (第1回)

プログラム

○司会：片山佳代子
(群馬大学情報学部准教授・研究分担者)

1 講義と演習：午前の部

9:30 開講の挨拶 ○研究代表者 有賀悦子(帝京大学医学部緩和医療学講座主任教授)
○戸石 輝(厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課 相談支援専門官)

10:00-10:30 講義①
参画が医療を変える・建設的な意見交換をしてみよう (参画-1・2)*

10:30-11:00 質疑応答
動画の内容を含む:様々な疑問を言葉に変えてみる

11:10-11:40 講義② (研究-1・2)*
なぜ研究が必要なのか?研究がどのように立案されるのか学んでみよう

11:45-12:15 演習
患者・市民参画するために!自分が目指す参画について考えてみよう

○講師： 有賀悦子(帝京大学医学部緩和医療学講座主任教授)
渡邊清高(帝京大学医学部内科学講座教授)
片山佳代子(群馬大学情報学部准教授)
○ファシリテーター： 天野慎介・桜井なおみ・轟浩美(全国がん患者団体連合会理事)
高上祐子(小児脳腫瘍の会代表)
樋口麻衣子(富山AYA世代がん患者会Colors代表)
櫻井公恵(NPO法人 GISTERS 副理事長)

休憩・昼食時間

2 講義とグループワーク：午後の部

13:30-14:00 講義③ 研究と患者・市民参画について (参画-1・2、研究-1)*
○講師：東島仁(千葉大学国際教養学部准教授)

14:10-15:30
グループワーク① 研究成果を読み解いてみよう (研究-3・4)*
○講師：西森久和(広島市民病院血液内科部長) ○ファシリテーター：野田真由美(NPO法人支えあう会 [a] 副理事長)、他

グループワーク② 模擬研究倫理審査会参画を体験する (参画-2、研究-2、EL-1)*
○講師：佐々木治一郎(北里大学医学部附属新世紀医療開発センター教授)
○ファシリテーター：矢後綾子(認定NPO法人オレンジティ 副理事長)、他

グループワーク③ 臨床研究プロトコルを読み解く (研究-1~4、EL-1・2、統計-1)*
○講師：手塚嗣(医薬品医療機器総合機構) ○ファシリテーター：桜井なおみ(全国がん患者団体連合会理事)

15:40-16:30 各グループワークからの発表

16:35-17:00 総合討論

17:05 閉講の挨拶 ○江口英利(大阪大学大学院医学系研究科教授)

*厚生労働省が推進した患者・市民参画カリキュラム・コードを示しています。カリキュラム・コードはがん研究について効果的に学習するために開発された教育カリキュラムの6領域に付与されているコードになります。詳しくは研究HPをご覧ください。 <https://plaza.umin.ac.jp/ppi-ed/>